

Care and Maintenance

INKJET PRINTER
UJ330H-160

お手入れのお願い

本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

目次

はじめに	3
安全にお使いいただくために	4
シンボルマーク表示について	4
してはいけない危険な行為	5
使用上の制限について	7
電源接続工事について	9
インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意 事項	10
設置上のご注意	12
設置スペース	13

メンテナンス

1. メンテナンスに関するご注意	15
2. メンテナンスの方法	16
メンテナンス項目とタイミング	16
インクのメンテナンス	17
キャップゴムの清掃	18
キャリッジ底面の清掃	18
布ワイパー周辺の清掃	20
NCUの清掃	21
DAS（自動補正機能）センサーの清掃	22
インク排出経路の洗浄	23
メディアセンサーの清掃	23
ジャムセンサー検出板の清掃	24
メディア搬送ベルトの清掃	25
メディア搬送ベルト端部の状態確認	25
カバー（外装）の清掃	26
ミストフィルターの清掃	28
長期間使用しないときは	30
3. 消耗品の交換	32
消耗品を交換するタイミング	32
布ワイパーの交換	33
キャップの交換	37
ステーション周辺の吸収材の交換	39
廃インクタンクの交換	41
ミストフィルターの交換	44
UV-LEDガラスの交換	45
インクボトルキャップの交換	46

はじめに

この度はUVインクジェットプリンター UJ330H-160をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、お手入れのお願い（以後、本書と称します）をよくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。

本書で使用しているイラストは、機能や手順、操作の説明を目的としており、本機と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 2026 株式会社ミマキエンジニアリング










● 免責事項

- UJ330H-160（以後、本機と称します）の故障有無に関わらず、本機をお使いいただいたことによって生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機により作成された製作物に対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社推奨品以外の装置などを使用すると、火災、または本機の破損事故のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正インク、メンテナンス液をご使用ください。それ以外を使用すると、プリント品質の低下、本機の故障のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インクボトルのインクを詰め替えないでください。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- UV-LEDユニット、UV電源装置は、弊社純正品以外は絶対に使用しないでください。弊社純正品以外を使用すると、本機の故障、感電、火災のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

安全にお使いいただくために

シンボルマーク表示について

本書では、シンボルマーク表示により操作上の注意内容を説明しています。各マークの持つ意味を十分理解して、本機を安全に正しくお使いください。

内 容		
	警告	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、または重傷のおそれがある内容を示しています。
	注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷、または中程度の負傷のおそれがある内容を示しています。
	注記	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。
	一般警告	注意しなければならない事項を示しています。具体的な警告内容は、マークの中に描かれています。
	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。具体的な強制指示内容は、マークの中に描かれています。
	一般禁止	してはいけない事項を示しています。具体的な禁止内容は、マークの中に描かれています。
	重要	本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい事項を示しています。
	ヒント	知っておくと便利な事項を示しています。
	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。

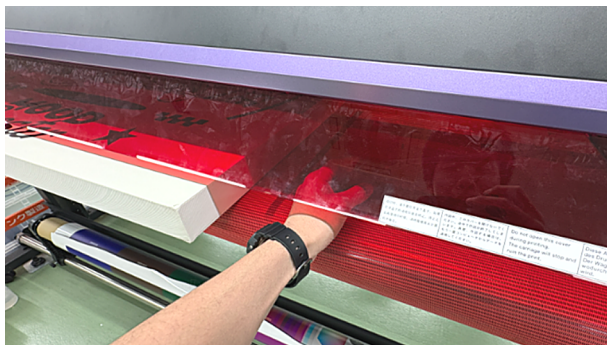
してはいけない危険な行為

電源が入っているときは、以下に挙げた危険な行為は絶対にしないでください。

● プリント中などキャリッジが動作しているときは、プリンター本体へ手などを入れない



- ・ フロントカバーの下から、プリンター本体へ手など体の一部を入れないでください。



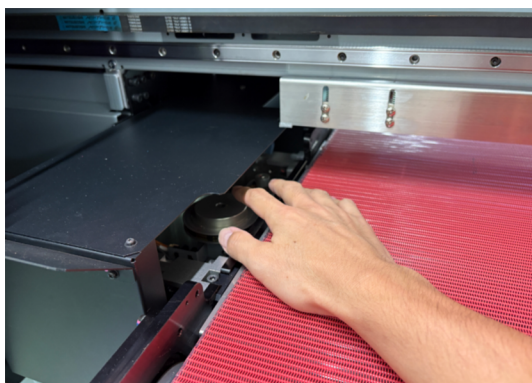
- ・ 背面側から、プリンター本体へ手など体の一部を入れないでください。特にメディア厚みの大きなメディアセット時、大きな空間が空きます。キャリッジ・ヘッドと衝突して、大きなケガのおそれがあります。



● 可動部に手など体の一部を近づけたり、入れたりしない



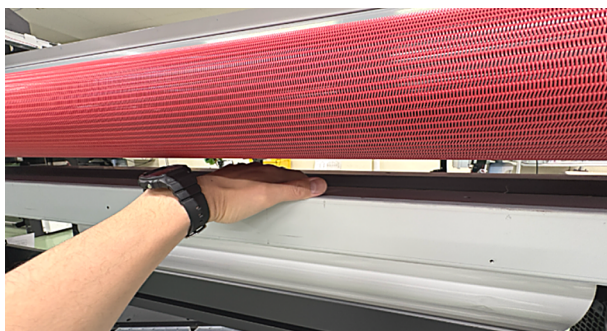
- ・ 本機の故障、またはケガをするおそれがあります。
- ・ 物の落下にも十分注意してください。



● メディア搬送ベルトの下に手など体の一部を入れたり、物を置かない



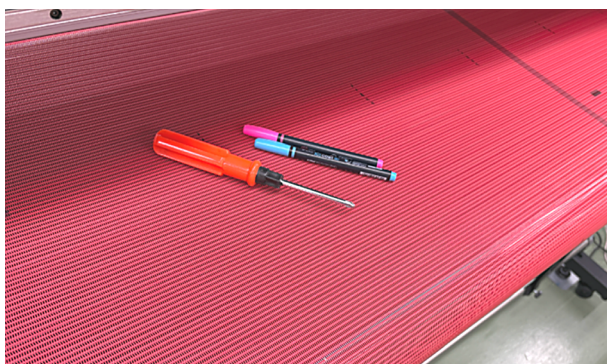
- メディア搬送ベルトの昇降により、本体フレーム間で挟み込まれる危険があります。



● メディア搬送ベルトの上に、物を置いたままにしない



- 不意なキャリッジの動作により、ヘッドと衝突する可能性があります。



● UV-LEDを直視しない



- UV-LEDを直視しないでください。椅子などに座って作業しているときは、キャリッジと頭の位置が同じ高さになっているので特に注意してください。

● キャリッジの動作を妨げない



- キャリッジが動作中（プリントやクリーニングなど）は、キャリッジに触れないようにしてください。

使用上の制限について

使用上の制限

⚠ 警告



- 本機はキャリッジが左右に高速移動したり、高温部や危険な電圧部、またUV-LEDを搭載して非常に危険です。本機の使用は、それらの危険性を十分理解した方に限られます。

使用者の制限

⚠ 警告



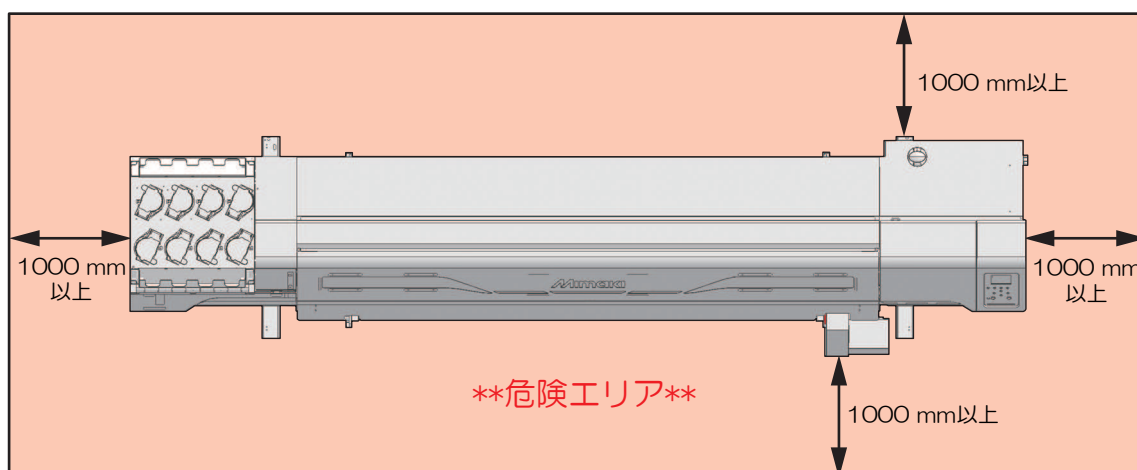
- 本機を使用するオペレーターは、弊社が実施する安全教育の受講者、もしくはその受講者から教育を受けた方のみとしてください。

エリア制限

⚠ 警告



- 弊社が実施するリスクアセスメント教育の受講者、もしくはその受講者から教育を受けた方以外は、隔離エリアへの立ち入りを禁止してください。教育を受けた方が隔離エリアに立ち入る時は、UV遮光メガネと保護手袋を必ず装着してください。



- 専用の個室、もしくは安全柵にて囲みを設けるなど、物理的な方法で本機を隔離してください。危険なエリアであることを認識させる必要があります。
 - (1) 専用の個室を設ける場合は、出入り口のドアに鍵やインターロックを設置してください。
 - (2) 安全柵にて隔離エリアを設ける場合は、EN ISO13857規格に準じたものを使用してください。

● エリア制限内における、外線（UV）、UV-LEDユニットの取り扱いについて

⚠ 警告



- UV-LEDユニットの下に可燃物を置いたり、紙や布でUV-LEDユニットを覆ったりしないでください。発火や発煙のおそれがあります。
- UV-LEDユニットから、微量の紫外線が漏れてしまうことがあります。目や皮膚に紫外線を浴びないように、UV遮光メガネや遮光用フェイスシールド、マスク、手袋、長袖の服を着用してください。
 - (1) 皮膚に紫外線を浴びると、炎症を起こすおそれがあります。炎症を起こさない場合でも、長期間、または反復暴露によって慢性障害に発展するおそれがあります。
 - 急性障害：炎症など
 - 慢性障害：皮膚がん、シワ、シミなど
 - (2) 点灯中のライトを肉眼で見た場合、目の痛みや視力障害を起こすおそれがあります。目の痛みを起こさない場合でも、長期、または反復暴露によって慢性障害に発展するおそれがあります。
 - 急性障害：紫外線角膜炎、結膜炎、異物感、とう痛、涙が流れるなど
 - 慢性障害：翼状片、白内障など



- 必ず付属のUV遮光メガネを着用してください。目が痛くなったり、視力障害を起こしたりするおそれがあります。



- 必ず手袋や長袖の服を着用してください。紫外線（UV）による皮膚の炎症や、皮膚障害を起こすおそれがあります。

⚠ 注意



- UV-LEDユニットは非常に高温になります。LEDが消灯して十分温度が下がるまで、手を触れないように注意してください。



- UV-LEDユニットの光を皮膚や目に直接、または間接的にあてないでください。UV-LEDユニットは、紫外線（UV）を発生させています。光を皮膚や目に紫外線を浴びると、炎症を起こすおそれがあります。

注記



- UV-LEDユニットに無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。変形や故障の原因になります。
- UV-LEDユニットの下面についているガラスは、素手で触れないでください。UVインクの硬化が低下する原因になります。汚れが付着したときは、エタノールを含ませた清潔な柔らかい布で拭いてください。その際、カバーや他の部品にエタノールを付着させないように注意してください。変形や故障の原因になります。

電源接続工事について



- 電源ケーブルのプラグは、接地（アース）極性付きのコンセントに接続してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
 - コンセントの増設には、感電事故防止のため接地（アース）工事が必要です。必ず電気工事士の免許を持った人が電気工事（C種接地工事（特別第3種接地工事））をしてください。
-



- 正しく接続してください。誤った接続をすると機器が破損するおそれがあります。
 - 誤配線をしないように注意してください。
-

インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意事項

インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体の容器に、液体に関する注意書きが添付されています。よくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。



- 取り扱い前に必ず安全データシート（SDS）をご覧ください。 <https://japan.mimaki.com/supply/sds/>

⚠ 注意



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- インクが入っているケースに強い衝撃を与えたり、激しく振り回したりしないでください。またインクを詰め替えないでください。インクが漏れて皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- インクが入っているケースを分解しないでください。インクが漏れて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や不織布などを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

注記



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を直射日光が当たる場所に保管しないでください。
- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類など）が充満している場所に保管しないでください。そのような場所に保管すると、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体は、他のプリンターで使用しないでください。故障の原因になります。



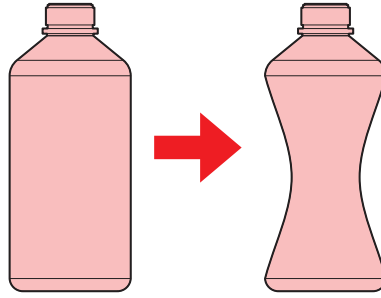
- 床から1m以内の低い場所に保管してください。落下したときに液体が飛散するおそれがあります。
- 密閉した状態で保管してください。
- 冷暗所で保管してください。
 - (1) インクが凍結しない環境での保管をしてください。解凍したインクを使用すると、インクの成分が変質してプリント品質が低下するおそれがあります。
 - (2) 寒い所から暖かい所に移したインクは、本機と同じ環境に3時間以上放置してから利用してください。
 - (3) インクは使用直前に開封して、早めに使い切ってください。開封してから長時間経過したものは、プリント品質が低下するおそれがあります。



- インクICチップの金属部分には触れないでください。静電気でインクICチップが破損したり、汚れや傷などによってインクICチップが読み取りエラーになる原因になります。



- 種類の違うインクICチップでは、プリントすることができません。
- 本機にセットしているインクボトルがへこんでしまっても、使用上問題ありません。



設置上のご注意

⚠ 警告



・ 地張剤や剥離剤には、引火する危険性（シンナーなど）が含まれているおそれがあります。本機は防爆タイプではありません。爆発などのおそれがあります。



・ 火気のある場所に本機を設置しないでください。
・ 本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、化学薬品、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。本機内部に浸入すると、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



・ 湿気が多い場所や水のかかる場所に本機を設置しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



・ 本機を子供が立ち入るおそれのある場所に設置しないでください。



・ 設置・メンテナンス時において、安全機能（インターロック等）を解除して作業を行う場合には、各工程に記載された警告事項を必ず事前に確認し、遵守してください。不適切な取り扱い、重大な人身事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意



- ・ 換気の悪い部屋、もしくは密閉された部屋に本機を設置する場合は、必ず換気装置を設けてください。
- ・ 排気口施工については、必ず以下の内容をお守りください。
 - (1) 排気口の設置は、各国の地域のEHS（Environmental, Health and Safety）ガイドラインにしたがってください。
 - (2) 排気口に閉鎖弁などを設置した場合、本機使用中は必ず閉鎖弁を開けてください。

注記



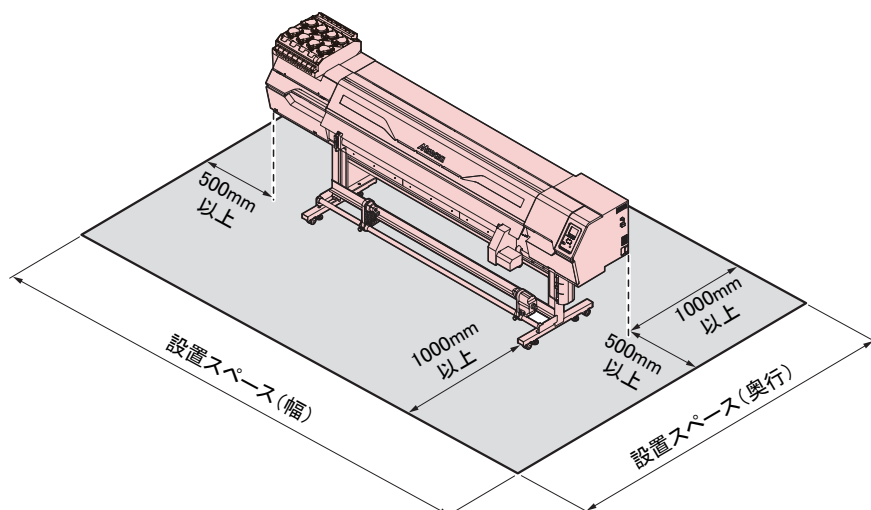
- ・ ホコリや粉じんのある場所に本機を設置しないでください。本機の内部に浸入すると、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ・ エアコンなどの風が当たる場所に本機を設置しないでください。本機の内部にホコリや粉じんなどが浸入するおそれがあります。
- ・ 不安定な場所や振動が発生する場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ・ 直射日光が当たる場所に本機を設置しないでください。
- ・ 温度変化が激しい場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ・ ノイズを発生する大型の機械が置いてある場所に本機を設置しないでください。
- ・ 写真定着材の蒸気や酸性（酢酸、塩酸など）の気体が発生していたり、金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類など）が充満する場所に本機を設置しないでください。そのような環境下に設置すると、プリントヘッド表面のインクが固まり、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- ・ 動作可能環境：20~30 °C（68~86 °F）、35~65% Rh（結露なきこと）
- ・ 精度保証温度：20~25 °C（68~77 °F）

設置スペース

メディアやインクの交換を安全に正しく行うためには、以下のスペースが必要です。



項目	UJ330H-160
幅 ^{*1}	4,225 mm以上 (3,225 mm)
奥行き ^{*1}	2,785 mm以上 (785 mm)
高さ ^{*1, *2}	(1,420 mm)
重量	386 kg

*1. () 内は、本機のサイズ

*2. インクボトルの高さを除く

メンテナンス

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるように、使用頻度に応じて定期的にお手入れをしてください。

メンテナンスに関する注意事項をよくお読みになってから、お手入れをしてください。

1. メンテナンスに関するご注意



- 定期的に交換しなければならない部品がありますので、保守契約をしていただくことをお勧めします。また品質不良や事故を未然に防ぐために、定期的にメンテナンスしたり、消耗品を交換したりしてください。

警告



- 定期的に清掃してください。本機を長年使用していると、電気部品にゴミやホコリがたまってしまう。漏電による本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- エアブローなどエア吹き付けによる清掃はしないでください。飛散したゴミやホコリが電気部品に侵入して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。もしくは、掃除機などで吸い取ってください。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

注意



- UV-LEDユニットは非常に高温になります。LEDが消灯して十分温度が下がるまで、手を触れないように注意してください。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったおそれがあります。



注記



- プリントヘッドのノズル面には、絶対に触れないでください。また、水やアルコールを付着させないでください。本機の故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ヘッドの周辺やキャリッジの周辺を清掃するときは、綿棒を使わないでください。綿棒の繊維がヘッドノズル面に付着すると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- カバーにインクやメンテナンス液を付着させないでください。カバーの表面が変質したり、変形したりする原因になります。
- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。部品が変質したり、変形したりする原因になります。
- アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。
- キャリッジを手動で移動しないでください。キャリッジを移動したいときは、メニューからキャリッジアウトを実行してください。

2. メンテナンスの方法

メンテナンス項目とタイミング

タイミング	項目
定期的に	インクを振ってください。☞ 「インクのメンテナンス」 (P. 17)
1週間の作業が始まる前	ホワイトインクのメンテナンスをしてください。☞ 「ホワイトインクのメンテナンス」 (P. 17)
1週間の作業が終わったとき	キャップゴムを清掃してください。☞ 「キャップゴムの清掃」 (P. 18)
	キャリッジの底面を清掃してください。☞ 「キャリッジ底面の清掃」 (P. 18)
	UV-LEDユニットの底面を清掃してください。☞ 「キャリッジ底面の清掃」 (P. 18)
	廃インクタンクの廃インク量を確認してください。☞ 「メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら」 (P. 41)
1か月に1度	布ワイパー周辺を清掃してください。☞ 「布ワイパー周辺の清掃」 (P. 20)
	NCUを清掃してください。☞ 「NCUの清掃」 (P. 21)
	DASセンサーを清掃してください。☞ 「DAS (自動補正機能) センサーの清掃」 (P. 22)
	インク排出の経路を清掃してください。☞ 「インク排出経路の洗浄」 (P. 23)
	メディアセンサーを清掃してください。☞ 「メディアセンサーの清掃」 (P. 23)
	ジャムセンサー検出板を清掃してください。☞ 「ジャムセンサー検出板の清掃」 (P. 24)
	プラテンを清掃してください。☞ 「メディア搬送ベルトの清掃」 (P. 25)
	メディア搬送ベルトの左右端部の状態確認を行ってください。☞ 「メディア搬送ベルト端部の状態確認」 (P. 25)
	カバー (外装) を清掃してください。☞ 「カバー (外装) の清掃」 (P. 26)
	ミストフィルターを清掃してください。 紙タオルなどで押さえて、インクを吸い取ってください。☞ 「ミストフィルターの清掃」 (P. 28)
1週間以上使わないとき	キャップの清掃、インク排出経路の洗浄をしてください。清掃が終了したあとは、主電源は切らずに保管してください。☞ 「長期間使用しないときは」 (P. 30)

メンテナンスに必要な道具

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト (<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>) にてご覧になれます。



- ・ 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。

インクのメンテナンス

インクに含まれている成分が沈降すると、インクの濃度が不均等になってしまうおそれがあります。安定してプリントしていただくために、定期的にインクを振っていただくことをお勧めします。

UVインク：1か月に1回程度。

UVホワイトインク：1日に1回程度。



- 本機はホワイトインクを攪拌してからの経過時間をカウントしています。規定値になるとディスプレイに「ホワイトインクボトルを振ってください」と表示されます。メッセージが表示されたら、以下の内容にしたがってホワイトインクを振ってください。
メッセージが表示されるタイミング：24時間ごと（電源を切っている場合は、電源を入れたとき）。

1 インクボトルを20回以上ゆっくりと左右に振る。

- インクボトルのフタをしっかりと締めて、推奨の不織布でインクボトルのフタを押さえて、インクを流すように左右に振ってください。



- ゆっくりと振ってください。強く振るとインクが漏れたり、インクの中に空気が入り込んでノズル詰まりになったりするおそれがあります。
- 使いかけのインクボトルの場合は、インクボトルが縦になるまで傾けてゆっくりと振ってください。

ホワイトインクのメンテナンス

ホワイトインクに含まれている成分が、他のインクに比べて沈降しやすい性質があります。インクに含まれている成分が沈降すると、インクの濃度が不均等になってしまうおそれがあります。1週間に一回、本機をご使用になられる前に、以下の内容にしたがってメンテナンスをしてください。

1 ホワイトインクのインクエコケースまたはインクボトルを振る。

- ☞ 「インクのメンテナンス」 (P. 17)

2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

3 [ホワイトメンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

4 [ENTER]キーを押す。

- 自動で排出/充填/クリーニングを実行します。
- 経過時間が表示されます。

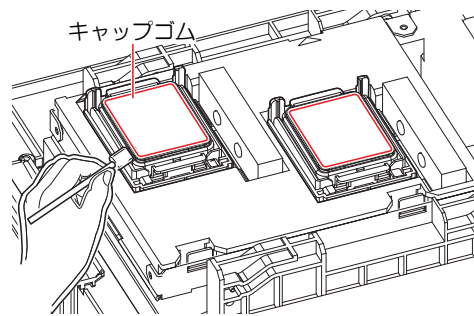
キャップゴムの清掃

キャップは、プリントヘッドのノズル面を乾燥から守る役割があります。汚れたまま使い続けると、インクの吸引が正常にできなくなって、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）のおそれがあります。



- ・ クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがプラテン上に移動します。
- 3 右側のメンテナンスカバーを開く。
- 4 キャップゴムを清掃する。
 - ・ メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。
 - ・ イラストの赤色（キャップゴムの内側/外側全周とツメ、メッシュ固定部）の部分を清掃します。



- 5 メンテナンスカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

キャリッジ底面の清掃

キャリッジ底面は、ワイパーで拭き取ったインクが付着しています。汚れたまま使い続けると、固まったインクや付着したホコリがメディアをこすり付けて、成果物を汚してしまう原因になります。

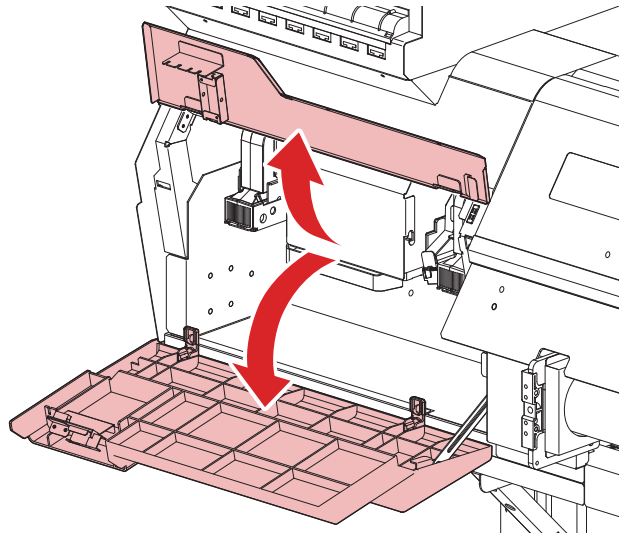
また、プリントヘッドは非常に微細なメカニズムを採用しております。お手入れの際には十分な注意が必要です。



- ・ クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

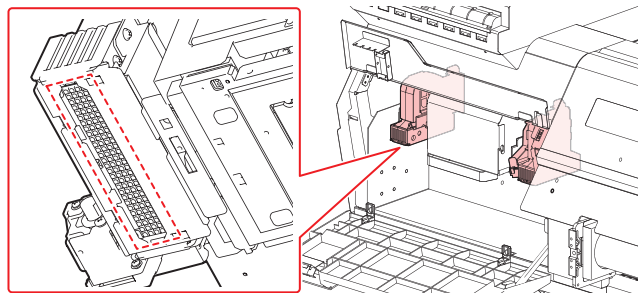
3 左側のメンテナンスカバーを開く。



- 左側のメンテナンスカバーを開いた後、開いたカバーの上に物を置いたり手を載せたりして、力を加えないでください。メンテナンスカバーが破損するおそれがあります。

4 UV-LEDライトのガラス面を清掃する。

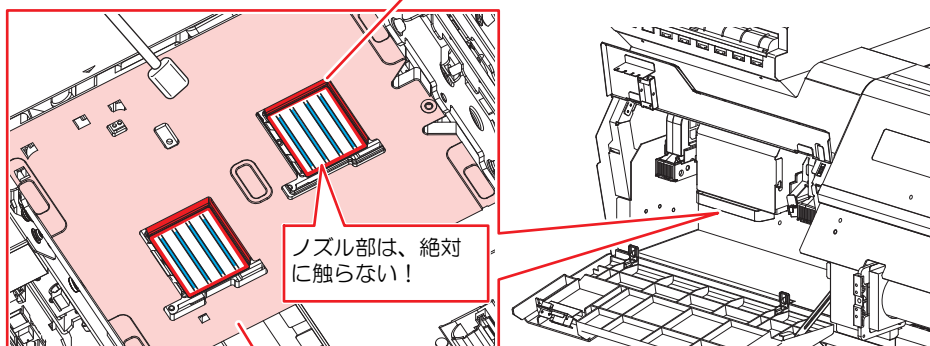
- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



5 プリントヘッド周辺を清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。

プリントヘッドの側面とノズルプレート全周は、クリーンスティックで清掃します。



クリーンスティック、または柔らかい布で清掃します。



- プリントヘッドのノズル部（イラストの青色部分）には、絶対に触れないでください。

6 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

布ワイパー周辺の清掃

汚れたまま使い続けると、ワイパー周辺の固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- ・ クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

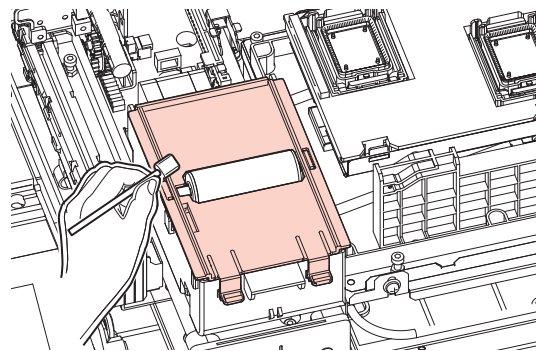
2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ キャリッジがプラテン上に移動します。

3 右側のメンテナンスカバーを開く。

4 ワイパーユニットのふたを清掃する。

- ・ メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



重要! ・ 布ワイパーにメンテナンス液が付着しないように注意してください。

5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

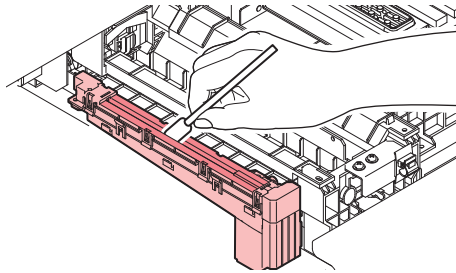
NCUの清掃

NCUは、プリントヘッドのノズルから吐出インク滴をセンサーで監視しています。汚れたまま使い続けると、ノズルチェック機能が正常に動作しないおそれがあります。

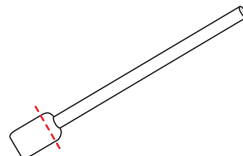


- ・ クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがプラテン上に移動します。
- 3 右側のメンテナンスカバーを開く。
- 4 NCUを清掃する。
 - ・ メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- ・ クリーンスティックは、イラストの位置まで挿し込んでください。

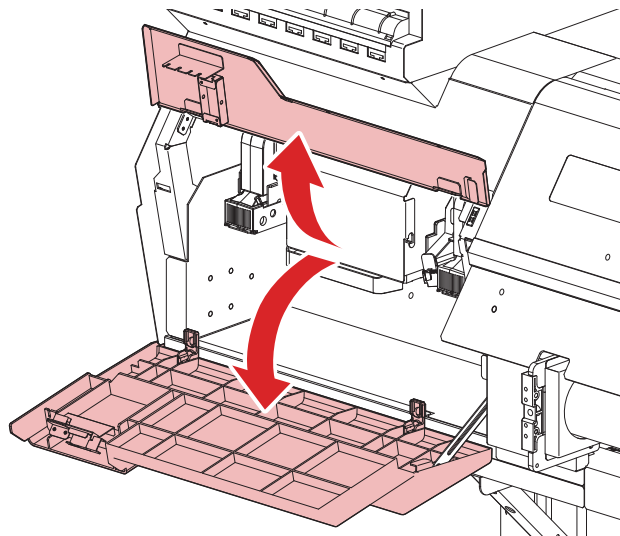


- 5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

DAS（自動補正機能）センサーの清掃

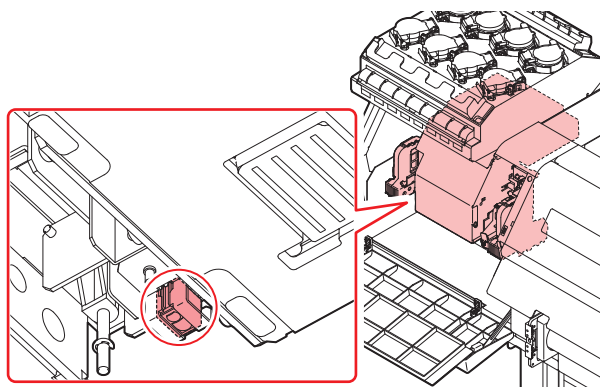
キャリッジ底面に、DASセンサーが付いています。センサーにホコリやゴミがたまると、DAS（03_自動補正）が実行できないおそれがあります。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがメンテナンススペースに移動します。
- 3 左側のメンテナンスカバーを開く。



- ・ 左側のメンテナンスカバーを開いた後、開いたカバーの上に物を置いたり手を載せたりして、力を加えないでください。メンテナンスカバーが破損するおそれがあります。

- 4 DASセンサーを清掃する。
 - ・ 綿棒や柔らかい布で拭き取ってください。



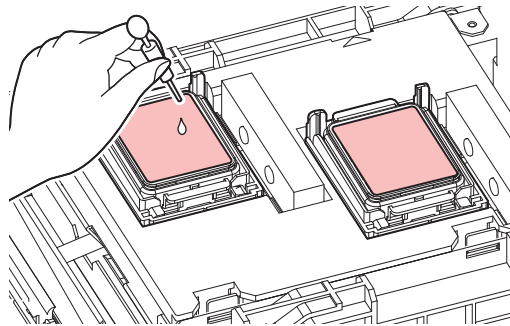
- ・ 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

- 5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

インク排出経路の洗浄

キャップ下のインク排出経路のインク詰まりを防止するため、定期的にインク排路の洗浄をしてください。

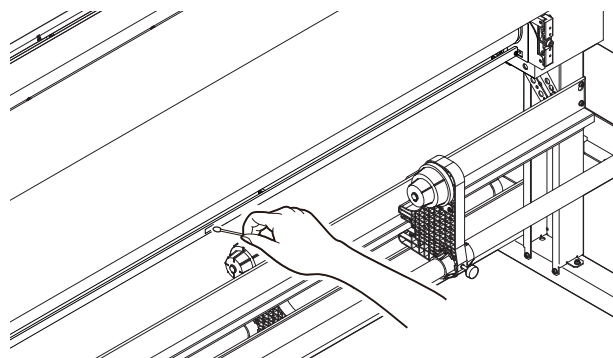
- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [ポンプチューブ洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがプラテン上に移動します。
 - ・ ディスプレイに"洗浄液を満たす 終了 次へ [ENT]"と表示されます。
- 3 右側のメンテナンスカバーを開く。
- 4 キャップの半分程度メンテナンス液が溜まっていることを確認する。
 - ・ スポイトにメンテナンス液をとって、キャップの半分程度メンテナンス液を滴下してください。



- 5 メンテナンスカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。
 - ・ ポンプチューブ（キャップ下のインク排出経路）の洗浄を開始します。

メディアセンサーの清掃

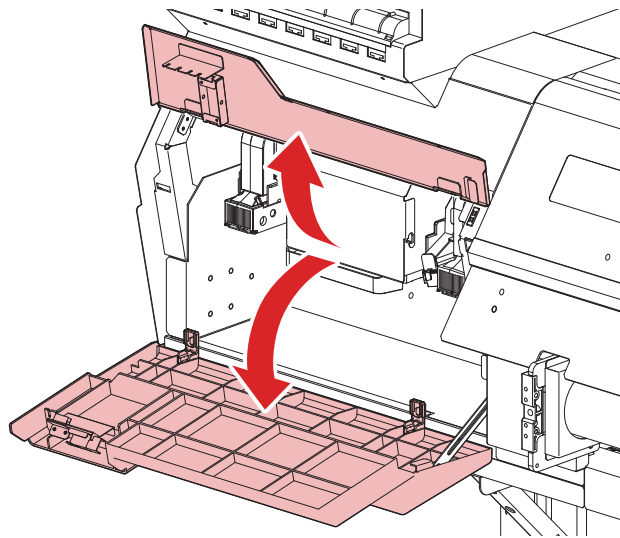
背面側のリアカバーに、メディアセンサーが付いています。センサーにホコリやゴミがたまると、メディアの誤検出の原因になります。綿棒や柔らかい布で取り除いてください。



ジャムセンサー検出板の清掃

汚れたまま使い続けると、固まったインクや付着したホコリがメディアをこすり付けて、成果物を汚してしまう原因になります。

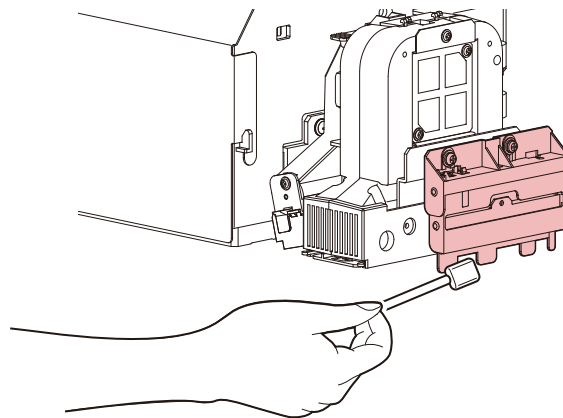
- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがメンテナンススペースに移動します。
- 3 左側のメンテナンスカバーを開く。



- ・ 左側のメンテナンスカバーを開いた後、開いたカバーの上に物を置いたり手を載せたりして、力を加えないでください。メンテナンスカバーが破損するおそれがあります。

4 ジャムセンサー検出板を清掃する。

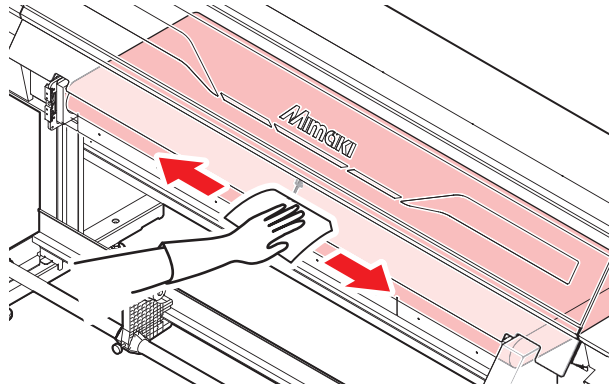
- ・ キャリッジ左右のジャムセンサー検出板の下部を清掃します。
- ・ メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

メディア搬送ベルトの清掃

汚れたまま使い続けると、メディアが正しくフィードできなくなります。また、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



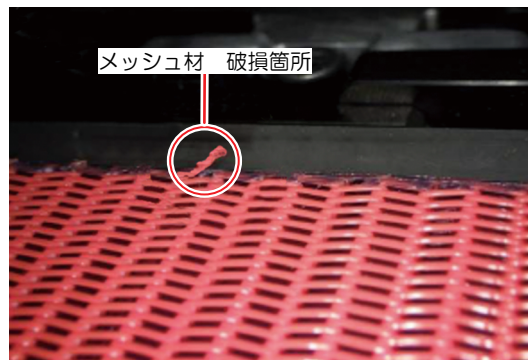
- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



- プリンター本体、メディア搬送ベルトに対して、液体散布を伴う清掃および、アセトンやIPAなどの有機溶剤を使用した清掃はしないようにしてください。

メディア搬送ベルト端部の状態確認

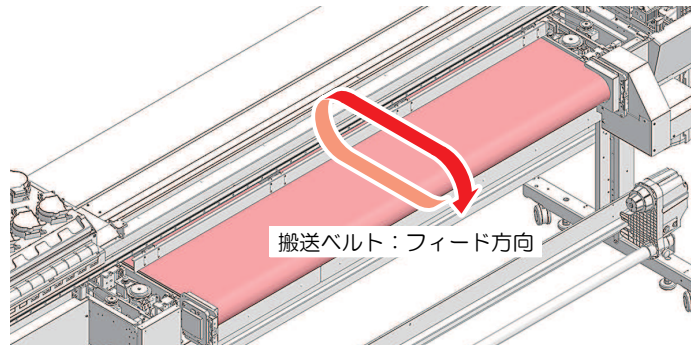
メディア搬送ベルトは、メッシュ材の左右端部に、一部破れやほつれなど、素材の破損が発生する可能性があります。メッシュ材の破損箇所が、ヘッドのノズル面と接触したり、メディアジャムの誤検知の原因となる場合があります。



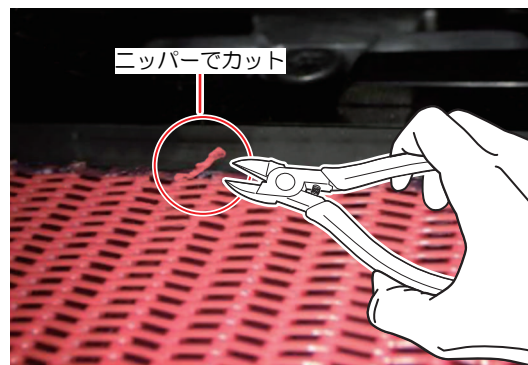
- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。

1 本機搬送ベルトからメディアを外す。

- 2** ベルトをフィード方向に送り、メッシュ材に上図のような破損個所がないか、ベルトの左右端部を確認する。
- ベルトは必ずフィード方向に回してください。手前のローラー上に手をかけて、ローラーを回すように手前に送ると、作業しやすくなります。



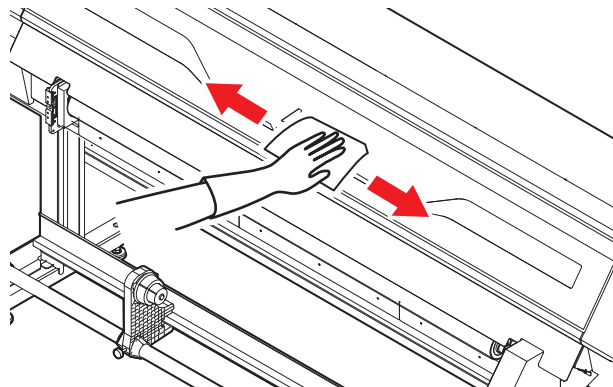
- 3** メッシュ材に破損個所がある場合は、ニッパー等で平らになるようにカット、除去する。



- ニッパーを使用する時は、ご自身の手を切らないように十分注意してください。

- 4** Step2~3の作業をベルト1周分行う。
- 5** ベルト上に、カットしたメッシュ材の断片が落ちていないことを確認する。

カバー（外装）の清掃



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



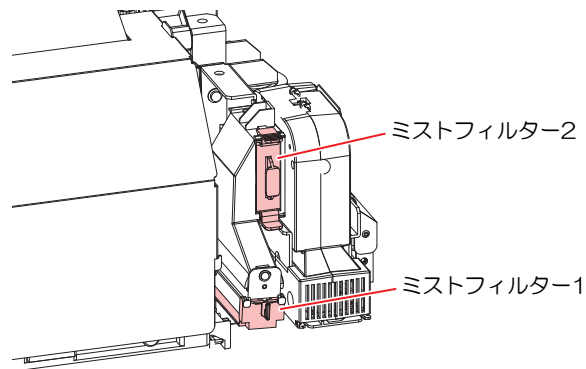
- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



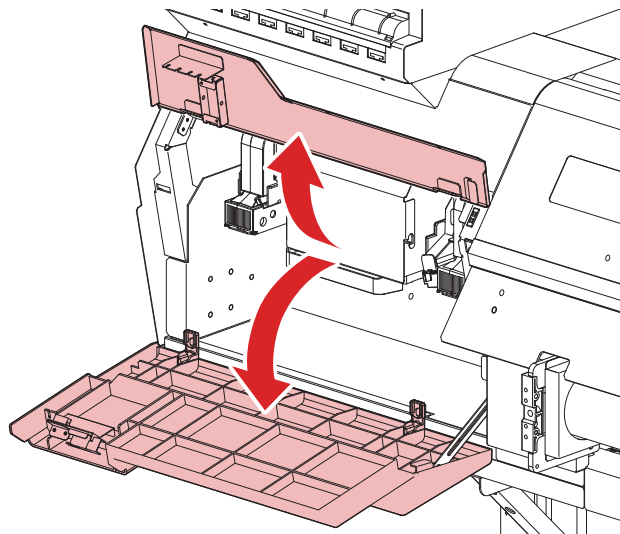
- プリンター本体、メディア搬送ベルトに対して、液体散布を伴う清掃および、アセトンやIPAなどの有機溶剤を使用した清掃はしないようにしてください。
-

ミストフィルターの清掃

ミストフィルターは、プリントヘッドからインク滴を吐出した際に発生するミストを吸収しています。汚れたまま使い続けると、成果物を汚してしまう原因になります。



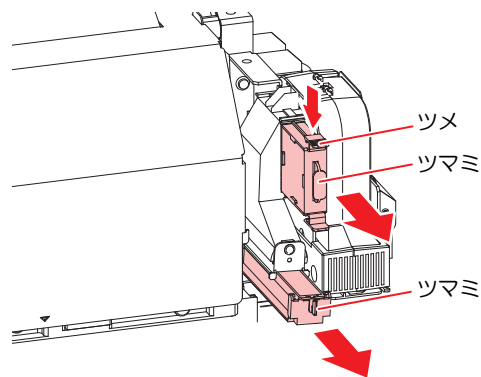
- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがメンテナンススペースに移動します。
- 3 左側のメンテナンスカバーを開く。



- ・ 左側のメンテナンスカバーを開いた後、開いたカバーの上に物を置いたり手を載せたりして、力を加えないでください。メンテナンスカバーが破損するおそれがあります。

4 ミストフィルターを外す。

- ツメを矢印の方向に押しながら、ツマミを手前に引いて外します。



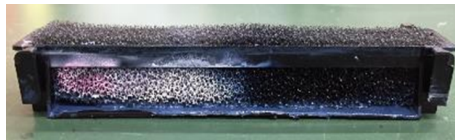
5 フィルターを清掃する。

- フィルターを外して、紙タオルなどで押さえて汚れを落とします。
- フィルターケースに付着した汚れを拭き取ります。



- フィルターについたインクが液状化するなど、汚れがひどい場合は、フィルターを交換してください。

☞ 「ミストフィルターの交換」 (P. 44)



6 ミストフィルターを元の位置にセットする。

7 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

長期間使用しないときは

1週間以上使用しないときは、以下の内容にしたがって清掃してください。

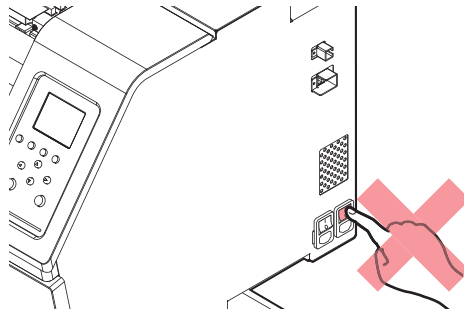
事前に確認してください

[ニアエンド]、[インクエンド]は表示していませんか？

- 洗浄動作の際に、メンテナンス液やインクを吸引します。このとき、エラーが発生していると洗浄ができません。新しいインクに交換してください。





- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- プラテン上にメディアをセットしたまま放置しないでください。メディアが波打つ原因になります。

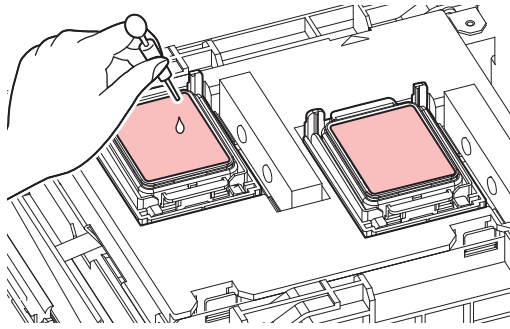


- ディスプレイに「廃インクタンク確認」が表示されたら、以下を実施してください。
 「廃インクタンクの交換」 (P. 41)

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [保管洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。
- 3 右側のメンテナンスカバーを開く。
- 4 キャップゴムを清掃する。
 -  「キャップゴムの清掃」 (P. 18)
- 5 清掃が終わったら、[ENTER]キーを押す。
 - ディスプレイに「洗浄液を満たす 終了 次へ [ENT]」と表示されます。

6 キャップいっぱいメンテナンス液を満たす。

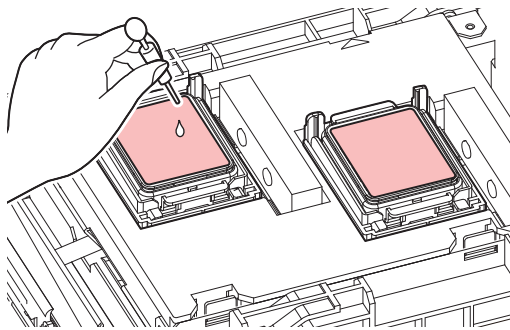
- スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。

**7** メンテナンスカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。**8** 放置時間を設定して、[ENTER]キーを押す。

- プリントノズルの洗浄が終了すると、自動的にクリーニングを実行します。
- ディスプレイに"洗浄液を満たす 終了 次へ [ENT]"と表示されます。

9 右側のメンテナンスカバーを開く。**10** キャップいっぱいメンテナンス液を満たす。

- スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。

**11** メンテナンスカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

- ポンプチューブ（キャップ下のインク排出経路）の洗浄を開始します。

3. 消耗品の交換

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト (<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>) にてご覧になれます。



- ・ 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。



- ・ 消耗品を廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

消耗品を交換するタイミング


タイミング	項目
なくなったら	☞ 「布ワイパーの交換」 (P. 33)
汚れていたら	☞ 「ステーション周辺の吸収材の交換」 (P. 39) ☞ 「ミストフィルターの交換」 (P. 44) ☞ 「UV-LEDガラスの交換」 (P. 45)
吐出不良が直らないとき	☞ 「キャップの交換」 (P. 37)
破損があるとき	☞ 「キャップの交換」 (P. 37)
ディスプレイに“廃インクタンク確認”が表示されたら	☞ 「廃インクタンクの交換」 (P. 41)
定期的に	☞ 「インクボトルキャップの交換」 (P. 46)

布ワイパーの交換

布ワイパーがなくなりましたら、新しい布ワイパーに交換してください。



- 機種に合った布ワイパーを使用してください。異なる布ワイパーを使用すると、プリントヘッドが破損する原因になります。

機種	品番/梱包形態
UJ330H	 SPC-0919 / アルミパック



SPC-0919の布ワイパーについて

- 布ワイパーに注意書きが添付されています。よくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。
- 布ワイパーを廃棄するときは、必ず袋に入れて密閉してください。産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。
- 布ワイパーを取り扱うときは、十分に換気して溶剤成分を吸い込まないように注意してください。



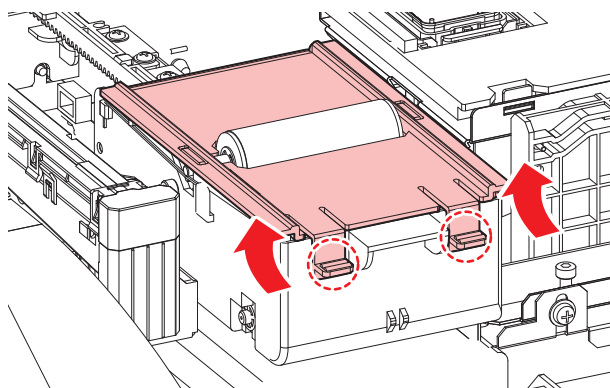
- SPC-0919の布ワイパー**を取り扱うときは、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。布ワイパーにしみ込んでいる液体（溶剤）が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



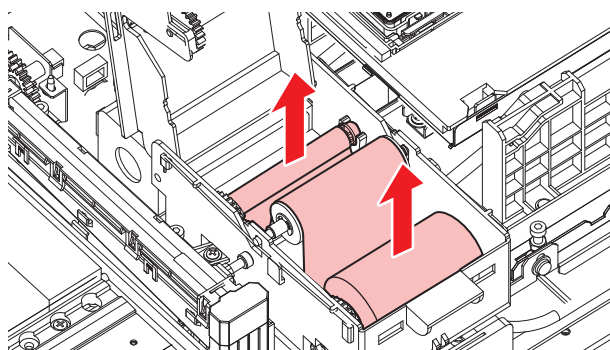
- ディスプレイに"ワイパーエンド"が表示される。
- ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- [ステーションメンテ] > [ワイパー交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。
- 右側のメンテナンスカバーを開く。

5 布ワイパーのふたを開く。

- 手前のツメを押し上げて開きます。



6 軸ごと布ワイパーを外す。



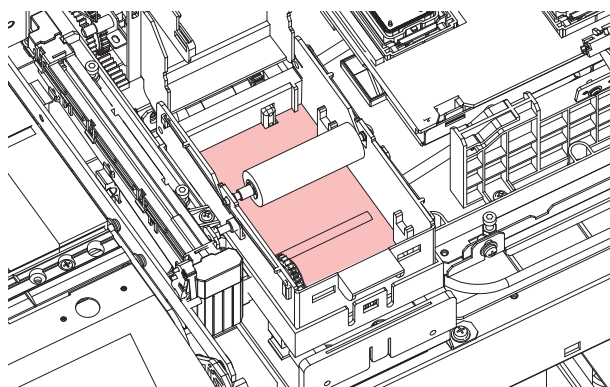
7 軸から布ワイパーを外す。



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や紙タオルなどを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

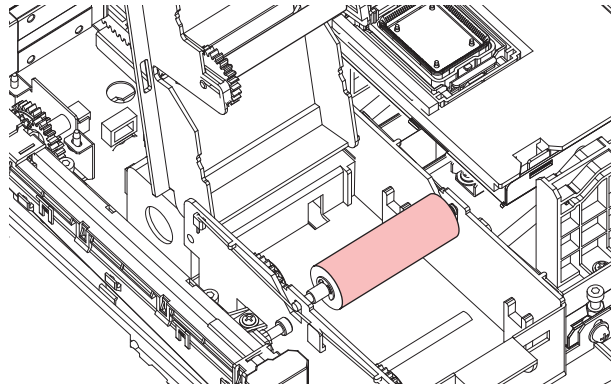
8 ワイパーユニット底面を清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



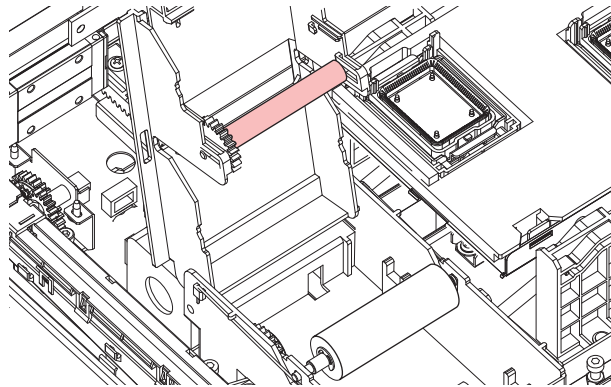
9 拭き取りローラーを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



10 ピンチローラーを清掃する。

- 柔らかい布などで、付着したホコリなどを軽く拭き取ります。



- 強くこすらないでください。スポンジが劣化するおそれがあります。

11 布ワイパーをセットする。

- (1) 袋から布ワイパーを取り出す。
- (2) 巻かれている布の多い方を広げる。

[袋から出した状態]



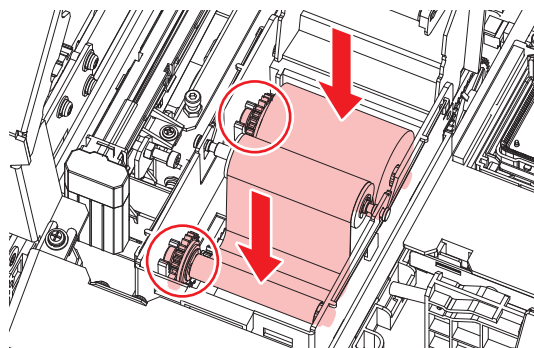
3周程度巻かれている

[ワイパーユニットにセットする状態]



広げない!

- (3) 布ワイパーをセットする。
 - 布ワイパーのギア部を左に向けてセットします。



- 重要!** • 軸に布が巻かれていない場合は、3周程度布を巻いてからセットしてください。軸に布が巻かれていない状態のままセットすると、ワイパーユニットから布が飛び出る原因になります。



12 布ワイパーのふたを閉じる。

13 メンテナンスカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

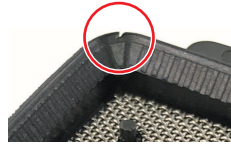
- ワイパーの残量が初期化されます。

キャップの交換

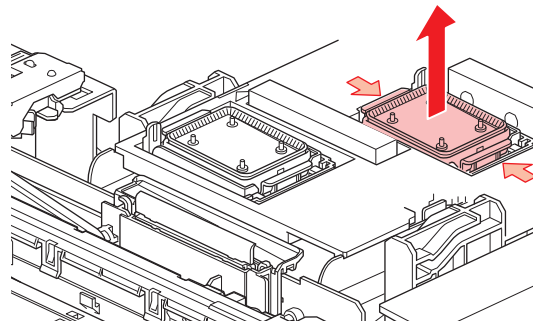
クリーニングしても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らない場合は、新しいキャップに交換してください。



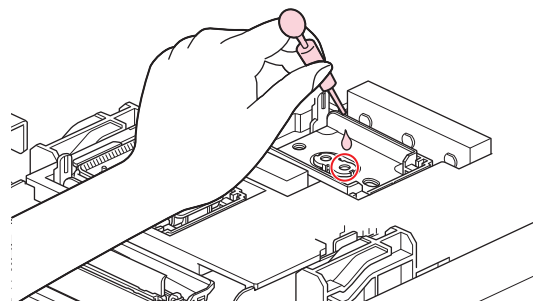
- キャップのフチに傷などの破損がみられる場合は必ず交換してください。



- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャップ交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。
- 3 右側のメンテナンスカバーを開く。
- 4 キャップを外す。
 - キャップ両端の突起を押し込みながら、引き抜きます。

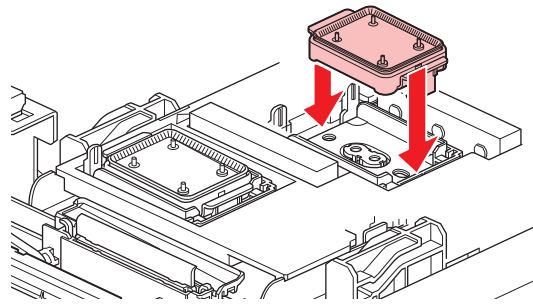


- 5 メンテナンス液を塗布する。
 - スポイトにメンテナンス液をとって、手前の穴に1~2滴塗布してください。



6 新しいキャップをセットする。

- 切り欠きを手前にして、カチッと音がするまではめ込みます。

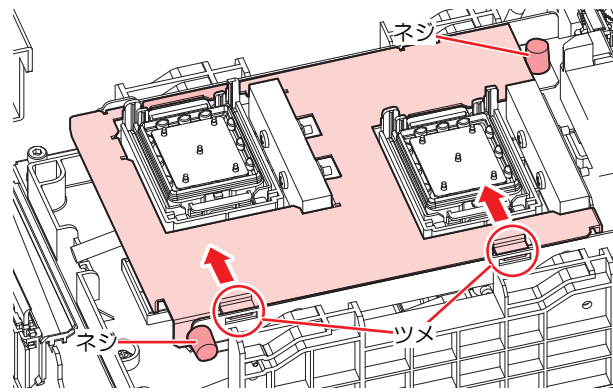


7 交換が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

ステーション周辺の吸収材の交換

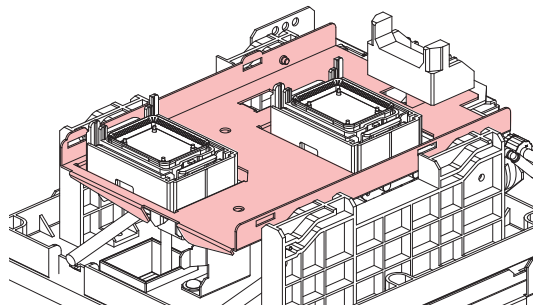
キャップ吸収材やメンテナンス液吸収材の汚れが激しいときや、メディアにポタ落ちなどがみられる場合は、新しいキャップ吸収材に交換してください。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがプラテン上に移動します。
- 3 右側のメンテナンスカバーを開く。
- 4 プレートごとキャップ吸収材を外す。
 - ・ 手前のツメを押し上げて外します。



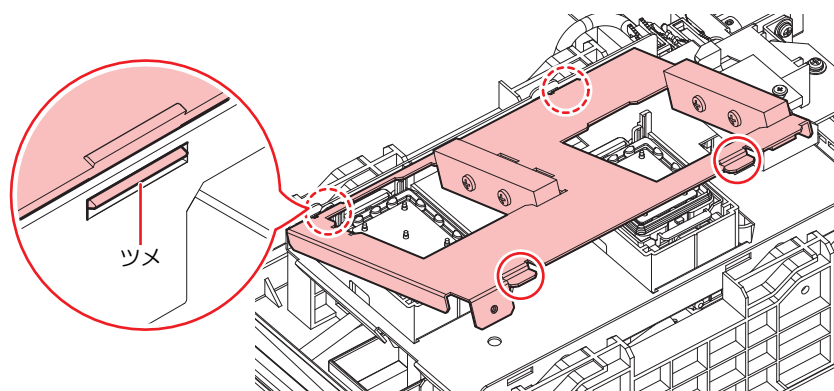
- ・ キャップ吸収材を外したときに、インクが垂れないように注意してください。

- 5 キャップベースを清掃する。



6 新しいキャップ吸収材（プレート込み）をセットする。

- Cスライダーの奥側のスリットにキャップ吸収材のツメを挿し込んでから、手前のツメをはめ込んでください。



7 交換が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

廃インクタンクの交換

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本機右下にある廃インクタンクにたまります。

本機はインクの排出量をカウントして、規定値になるとディスプレイに「廃インクタンク確認」が表示されま
す。廃インクタンクを交換する目安としてお使いください。



- 2Lタンクの容量が80%（1.6L）が規定値です。
- 廃インクを廃棄せずに使い続けると、廃インクタンクから廃インクがあふれ出るおそれがあります。1週間に1回を目安に、廃インクタンクの液量を目視でご確認頂くことをお勧めいたします。



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったおそれがあります。



メッセージ「廃インクタンク確認」が表示されたら

- 1 ディスプレイに「廃インクタンク確認」が表示される。

廃インクタンク確認 Level: xx %

- 2 廃インクタンクの中の廃インク量を確認する。

- 実際の量と誤差がある場合は、次の手順に進んでください。
- 実際の量と誤差がなく、廃インクタンクを交換（廃棄処分）する場合は、廃インクタンクを交換してください。☞「[廃インクタンクを交換する](#)」（P. 41）

- 3 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

- 4 [廃インクタンク]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 5 [廃インク量補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 6 ▲▼を押して、レベルを調整する。

- 7 調整が終わったら、[ENTER]キーを押す。

廃インクタンクを交換する

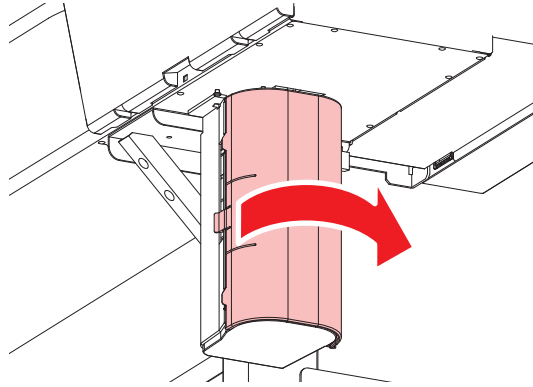
- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

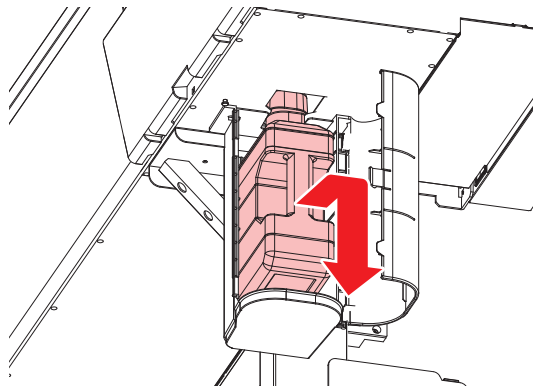
- 2 [廃インクタンク]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 3 [廃インク量リセット]を選択して、[ENTER]キーを押す。

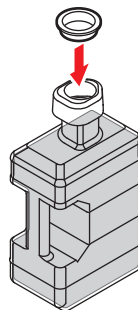
4 廃インクタンクのカバーを開く。



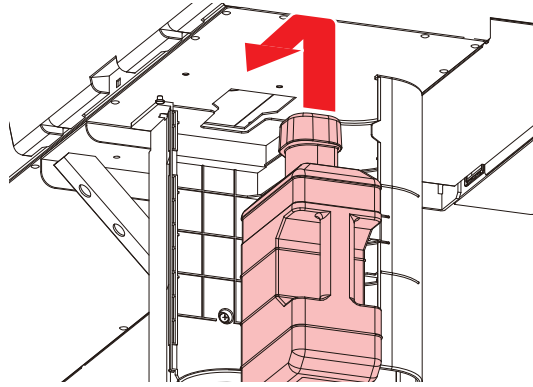
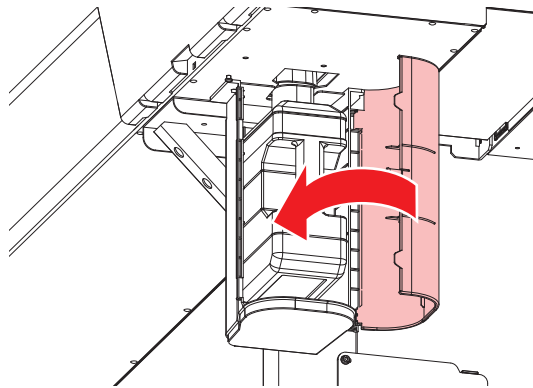
5 廃インクタンクの手を持ち、スライドさせて外す。



6 取り外した廃インクタンクにキャップをはめて、テープなどを使用して廃インクが漏れないように処理する。



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や不織布などを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

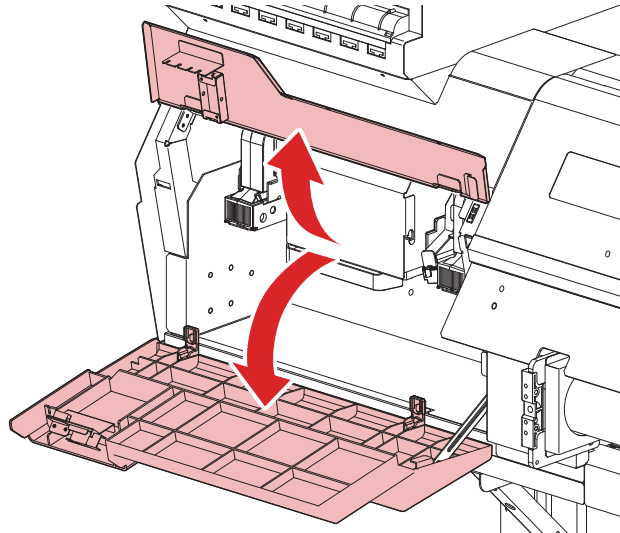
7 新しい廃インクタンクをセットする。**8** 廃インクタンクのカバーを閉じる。**9** [ENTER]キーを押す。

- 廃インク排出量が初期化されます。

ミストフィルターの交換

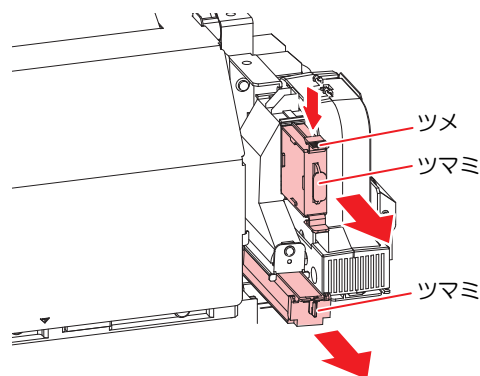
ミストフィルターの状態を確認して、汚れが激しいときは交換してください。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがメンテナンススペースに移動します。
- 3 左側のメンテナンスカバーを開く。



- ・ 左側のメンテナンスカバーを開いた後、開いたカバーの上に物を置いたり手を載せたりして、力を加えないでください。メンテナンスカバーが破損するおそれがあります。

- 4 ミストフィルターBOXを外す。
 - ・ ツメを矢印の方向に押しながら、矢印の方向にスライドさせて外します。

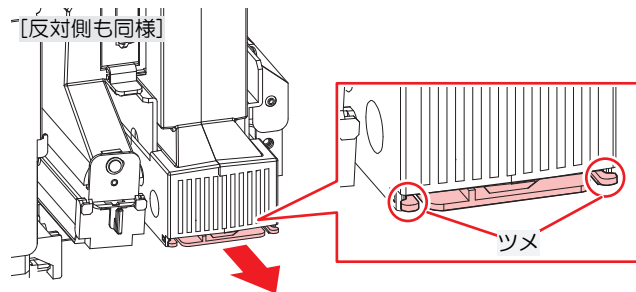


- 5 新しいミストフィルターに交換する。
- 6 ミストフィルターBOXをセットする。
 - ・ カチッと音がするまで押し込んで、ツメが固定されたことを確認してください。
- 7 交換が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

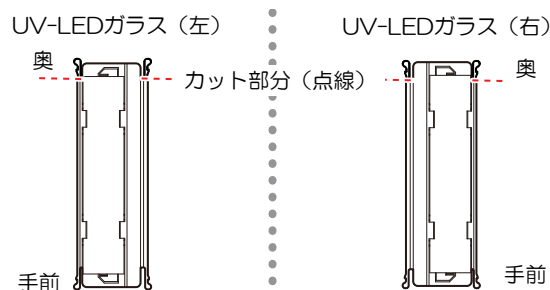
UV-LEDガラスの交換

UV-LEDユニット底面のガラスに、硬化したインクが付着しているときは、新しいガラスに交換してください。

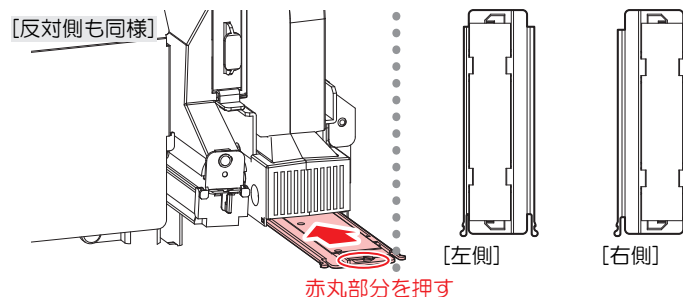
- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがプラテン上に移動します。
- 3 正面カバーを開く。
- 4 LEDガラスを外す。
 - ・ ツメを内側に押し、矢印の方向にスライドさせて外します。
 - ・ ツメを外すときに、力を入れすぎないようにご注意ください。ツメが折れてしまうおそれがあります。



- 5 ガラスホルダーも一緒に交換する場合、奥側のツメをカットする。



- 6 新しいLEDガラスをセットする。
 - ・ ツメの部分には触れないで、ガラスホルダー中央を押しして挿し込むようにしてください。
 - ・ カチッと音がするまで挿し込み、ツメが固定されたことを確認してください。



- 7 交換が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

インクボトルキャップの交換



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



お手入れのお願い

2026年4月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング
発行所 株式会社ミマキエンジニアリング
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3

